



地区だより

西条地区 

西条地区 第25回法令講習会について

西条地区では、産業廃棄物の適正処理の推進、不法投棄防止ならびに会員の意識向上を目標に掲げ、2025年11月10日(月)リーガロイヤルホテル新居浜において会員向けの講習会を開催しました。

本講習会には、西条地区をはじめとする会員企業49社・計81名が参加し、新居浜警察署、東予地方局、新居浜労働基準監督署より講師をお招きして、以下の内容でご講演いただきました。

講演内容と講師	講演内容：「産業廃棄物の適正処理について」	
	講 師：愛媛県新居浜警察署 生活安全課長	石川 貴康 様
	講演内容：「廃棄物処理法に基づく規制の動向」	
	講 師：東予地方局 環境保全課 廃棄物指導係 技師	鬼武 慎 様
	講演内容：「重大事故ゼロへ！安全衛生関係法令の基礎知識」	
	講 師：新居浜労働基準監督署 安全衛生課	阿部 波留香 様

参加者は、廃棄物処理業界における事故・事犯・法令の現状、事業者の責務、そして安全衛生管理の重要性について、終始真剣な面持ちで講義を受講し、各分野における知識を深める有意義な機会となりました。

西条地区では、今後も引き続き、法令遵守と安全衛生活動の推進に積極的に取り組んでまいります。



新居浜警察署講師



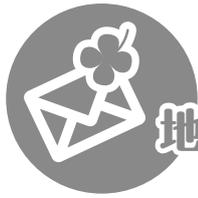
東予地方局講師



会場の様子



会場の様子



地区だより

松山地区 

令和7年度 不法投棄物撤去活動の実施

中予地方局不法投棄防止対策推進協議会
協会四国遍路道清掃活動の合同活動として実施

実施日時 令和7年12月17日(水)
11:00~12:30

実施場所 愛媛県運転免許センター ~ 松山観光港 県道39号海岸線約4Km

集合場所 愛媛県運転免許センター (松山市勝岡町1163-7)
駐車場東端バス停付近 総数 54名 (松山地区会員38名参加)

環境部長より活動の主旨等挨拶の後、協会小池会長、松山地区大西会長を先頭に作業に入った、前回の活動に比べ近隣住民の方のご尽力により廃棄物は少なくきれいに保たれていた。



松山地区会員



保健福祉環境部長挨拶



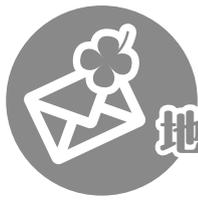
先頭にたち作業する 小池本会会長 大西地区会長



水路の中



集積ポイントに集められた廃棄物 全5ヶ所



地区だより

松山地区 

令和7年度 労働安全衛生大会の開催

例年開催している松山地区労働安全衛生大会を厚生労働省松山労働基準監督署並びに愛媛県松山東警察署様の後援を戴き開催した。

日時 令和7年11月12日(水) 15:30~17:30

場所 ネストホテル松山 2階会議室

主催 えひめ産業資源循環協会松山地区

後援 厚生労働省松山労働基準監督署

後援 愛媛県松山東警察署

参加者 40名 後日参加者名簿を松山労働基準監督署に提出いたしました

講話 厚生労働省松山労働基準監督署安全衛生課

課長 山本 和隆 様

主任監督官 井出 祥史 様

愛媛県松山東警察署交通第一課

警部補 長友 康浩 様



安全標語入選作表彰

大西地区会長より賞状、副賞授与

==安全標語 通年== R8年10月まで

【災害〇（ゼロ）・

事故〇（ゼロ）で家族の笑顔〇（マル）】

東京オリエンタルシップ有限会社

松尾 賢二 氏

==安全標語 年末年始==

【したつもり つもりをもって 事故のもと】

城東開発株式会社 宮本 雄一郎 氏



えひめ産業資源循環協会松山地区

令和7年度
労働安全衛生大会

令和7年11月12日（水）
後援 愛媛労働局松山労働基準監督署
愛媛県松山東警察署
主催 えひめ産業資源循環協会
松山地区

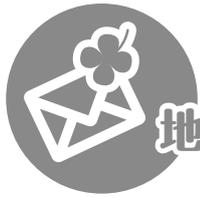
SOSmark

えひめ産業資源循環協会松山地区
令和7年度労働安全衛生大会

「職場の安全衛生管理活動」

安全衛生管理水準の向上を目指し、
松山第14次労働災害防止計画の目標達成！

令和7年11月12日
松山労働基準監督署 安全衛生課



地区だより

八幡浜地区 

令和7年度 愛媛県災害廃棄物処理に係る実動訓練

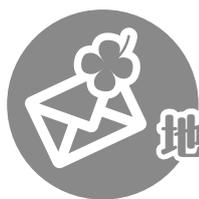
八幡浜地区では、令和7年11月19日、「令和7年度愛媛県災害廃棄物処理に係る実動訓練」に参加しました。

当地区では、平成30年豪雨災害を経験しており、当時も訓練会場が災害廃棄物の集積場となったこともあり、寒い中でも熱の入った訓練になったかと思います。

八幡浜地区では、13名が訓練に参加しました。

実施主体	愛媛県県民環境部循環型社会推進課 (事業委託先：国際航業株式会社)
実施日時	令和7年11月19日(水) 10:00~16:00
実施場所	八幡浜・大洲地区運動公園 (大洲市平野町野田乙1644)
実施内容	運動場を使用した搬入・搬出訓練、訓練実施後の検証





地区だより

宇和島地区 

令和7年度 「ぼくのごみどこ行くの？」教室開催

宇和島地区では、環境意識の普及啓蒙活動として南予地域の小学校の児童たちに身近な地域の環境問題について理解を深め、環境保全活動への積極的な参加を育む取り組みとして、令和7年12月15日(月)宇和島市立北灘小学校において、当小学校の3・4年生の児童12名を対象に「ぼくのごみどこ行くの？」教室を開催いたしました。

宇和島保健所の方を講師にお迎えいたしまして、45分間の環境教室を行い、「ゴミはどうやってできるの?」、「ゴミはどこへ行くの?」、「ゴミについて困ったことは?」、「困ったことは、どうすれば解決するだろう?」について、児童たちに分かりやすく講演をしていただきました。また、「ゴミについてのクイズ」では、多くの児童が積極的に発表を行い、児童たちも地域の身近な環境問題として関心をもって受講していただきました。

児童からは、「海や川にごみを捨てず、環境を守っていきたい」、「マイバッグを持っていくなどゴミを減らす工夫をしたい」、「ゴミの分別をしっかりしたい」「北灘湾を大事にしていきたい」「最終処分場があと20年程でいっぱいになることが印象的だった」など、多くの感想をいただきました。

児童たちには環境教室で学んだことをもとに、ごみの処理や有効利用と自分たちの生活との関わりを理解し、ごみの減量やリサイクルなど協力できることを考えて、環境保全活動に取り組んでもらいたいと思います。

今後も、環境意識の普及啓蒙活動として南予地域の小学校で開催する予定です。





ぼく・わたしのごみどこ行くの？

☆クイズプリント☆

年 名前 _____

1. 「宇和島地区広域事務組合 環境センター」では、集めてきた「びん・カン」はどのように分別しているでしょう？
 - ア. すべて機械で分別している
 - イ. 機械を使いながら、人が手作業で分別している
 - ウ. 分別していない

2. このまま、ごみを出しつづけると、日本の「一般廃棄物 最終処分場」が満杯になるまであと約何年でしょう？
 - ア. 20年
 - イ. 50年
 - ウ. 100年

3. わたしたちができる「リデュース」(ごみそのものを減らすこと)は、次のうち どれでしょう？
 - ア. 洗剤がなくなったら、容器は捨てずに詰め替えをする
 - イ. 買い物には、いつもマイバッグを持っていく
 - ウ. 生ごみを氷切りする

4. 思ったこと、感じたこと
